

	<h2 style="text-align: center;">都市農業の魅力と可能性を世界に発信！</h2> <h1 style="text-align: center;">「世界都市農業サミット宣言」を発表！</h1>	
と き	12月1日(日)	
と ころ	練馬文化センター(練馬1-17-37) 小ホール(592席)	
U R L	https://www.city.nerima.tokyo.jp/kankomoyoshi/nogyo/summit.html	
<p>区は、11月29日(金)から12月1日(日)まで世界都市農業サミットを開催した。最終日となる1日には、練馬区と都市農業を積極的に推進するジャカルタ、ロンドン、ニューヨーク、ソウル、トロントの参加5都市とともに「世界都市農業サミット宣言」を発表した。</p> <p>サミット宣言では、農のある都市で暮らすことに誇りを持ち、持続可能で豊かな生活を送るために、都市農業の意義と可能性を確認し、以下の3つの内容を宣言した。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 “都市農業”は、いのちを育む 2 “都市農業”は、歴史と文化を育む 3 “都市農業”は、公正で開かれた社会を育む <p>“都市農業”が持つ魅力や可能性を世界に発信し、本サミットで培ったネットワークを活かし、相互に連携しながら、さらなる都市農業の発展を目指す。</p>		
		▲開会の挨拶をする前川会長
		
		▲サミット宣言する後藤副会長

【世界都市農業サミット宣言】

別紙のとおり

【参考】国際会議(分科会・シンポジウム)

都市農業に関する取り組みを相互に学び、意見交換を行い、さらに都市農業を発展させるため、分科会(30日)とシンポジウム(1日)を開催した。

分科会では、海外5都市の参加者と一緒に、都市農業を3つのテーマに分けて、事例発表や意見交換を行った。

テーマ1 都市における農産物生産と販売について考える

テーマ2 都市の農業を活かしたコミュニティづくり

テーマ3 都市における農を活かしたまちづくり

シンポジウムでは、サミット宣言を行った後藤副会長(武蔵大学 名誉教授)が座長を務め、参加5都市と区の農業者が登壇し、「都市農業の未来を語る～私たちのくらしと社会をいかに豊かにできるか～」をテーマに活発に議論を行った。会場は満席となり、海外5都市の都市農業の発表やパネルディスカッションに耳を傾けていた。



▲分科会の様子



▲シンポジウムの様子

【問い合わせ】

練馬区 世界都市農業サミット担当課国際会議担当係 電話 03-5984-1498

世界都市農業サミット宣言

練馬区において開催された「世界都市農業サミット」において、都市農業を積極的に推進するジャカルタ、ロンドン、ニューヨーク、ソウル、トロントの参加5都市と練馬区は、都市農業に関する取り組みを相互に学び合い、情報共有を進め、活発な議論を行った。

私たちは、世界の人びとが農ある都市で暮らすことに誇りを持ち、持続可能で豊かな都市生活を送るために、以下に“都市農業”の意義と可能性を確認し、ここに宣言する。

1. “都市農業”は、いのちを育む

都市農業は、農産物の生産によって、都市に暮らす人間のいのちの糧を提供している。また、気候変動の緩和・適応のための重要な手段となりうる。それだけではなく、都市の持続可能性を高め、多くの生き物のいのちを育んでいる。

2. “都市農業”は、歴史と文化を育む

都市農業は、人と人とのつながり、そして、人と自然とのつながりを創り出す。そのつながりをもとに、都市の人びとは、歴史と文化を継承、創造し、発展させている。

3. “都市農業”は、公正で開かれた社会を育む

都市農業は、誰もが等しく農に触れ、耕し、農の恵みを享受する場となりうる。それは、社会的課題を解決し、公正で開かれた社会を創り出す。

これからも私たちは、“都市農業”が持つ魅力や可能性を世界の人びとに発信していく。本サミットで培ったネットワークを活かし、相互に連携しながらその可能性を拓き、新たな取り組みを広げることで、“都市農業”の発展に貢献する。



2019年12月1日
世界都市農業サミット 参加者一同

December 1, 2019

Urban Agriculture World Summit: Declaration

Urban Agriculture World Summit was held in Nerima City, Tokyo, and attended by representatives of five other cities that are also proactively promoting urban agriculture initiatives: Jakarta, London, New York, Seoul, and Toronto. Summit participants learned from one another's urban agriculture efforts, shared information, and engaged in lively discussion.

In order for people in cities around the world to proudly live in harmony with agriculture and lead sustainable and abundant urban lives, the participants agreed upon the following declaration affirming the significance and potential of urban agriculture.

1. Urban Agriculture Can Nurture Life

Urban agriculture provides the staff of life to people in cities by producing agricultural goods. Urban agriculture can be an important strategy to mitigate and adapt to climate change. Moreover, it promotes urban sustainability and nurtures lives.

2. Urban Agriculture Can Preserve History and Foster Cultural Diversity

Urban agriculture connects people with one another and with nature. Based on these links, people in cities pass on, create, and develop historical and cultural traditions.

3. Urban Agriculture Can Create Just and Open Societies

Urban agriculture has the ability to create platforms for everyone to learn about and engage in agriculture on equal terms, and to share equally in its bounty. This resolves social issues and creates just and open societies.

We will continue to communicate the appeal and potential of urban agriculture to the people of the world. Utilizing networks built up by this summit, we will collaborate in contributing to the development of urban agriculture by opening up possibilities and extending new initiatives.



The Participants
Urban Agriculture World Summit